

学校と地域をむすぶ

かけはし

大津市立葛川小中学校
地域コーディネーターだより
NO. 7
2018. 2. 6

KTふれあいの輪

1月17日、葛川市民センターにおいて「KTふれあいの輪」が行われました。自分たちの住む、葛川（KaTsuragawa）と久多（KuTa）の地域の方々とふれあい、交流を持ちながら、地域に目を向け、地域の将来を考えていくために、中学校の生徒会が中心となり企画・運営している行事です。今年で5年目を迎え、一つの節目として、例年とは少し違った企画を取り入れました。

小学校1年生から4年生は、葛川健康推進協議会の方々といっしょに昼食作りを行いました。「KTふれあいの輪」の昼食はカレーが定番になっていますが、「普通のカレーではなく何か趣向を凝らしたい」と子どもたちから声上がり、事前に話し合ったり、健康推進協議会の方に相談したりしながら、今年は普通のカレーにかぼちゃとブロッコリーをトッピングすることになりました。朝9時からさっそく調理にとりかかりました。今年は昨年よりも多い90食分のカレーを作ることになり、子どもたちも大はりきりでした。大量の野菜を洗う、皮をむく、切るなどの下ごしらえは大変でしたが、毎年経験を積んでいる子どもたちが増えてきている中、ていねいに手早く作業をこなしていくことができました。健康推進協議会の方々からは、「こうやると上手にむけるよ」「半分に切ってからこうやって」など、アドバイスをもらったり見本を見せていただいたりしました。大きな鍋で野菜と肉をいためて煮込みます。待っている間も休憩ではありません。お皿やスプーンを洗って準備します。「炊飯器のスイッチを押さな」と炊飯器のスイッチを押す時間も忘れていませんでした。2階にもいいにおいがただよってきました。予定時刻よりも早くカレーは完成し、配膳を待つばかりとなりました。



し合ったり、健康推進協議会の方に相談したりしながら、今年は普通のカレーにかぼちゃとブロッコリーをトッピングすることになりました。朝9時からさっそく調理にとりかかりました。今年は昨年よりも多い90食分のカレーを作ることになり、子どもたちも大はりきりでした。大量の野菜を洗う、皮をむく、切るなどの下ごしらえは大変でしたが、毎年経験を積んでいる子どもたちが増えてきている中、ていねいに手早く作業をこなしていくことができました。健康推進協議会の方々からは、「こうやると上手にむけるよ」「半分に切ってからこうやって」など、アドバイスをもらったり見本を見せていただいたりしました。大きな鍋で野菜と肉をいためて煮込みます。待っている間も休憩ではありません。お皿やスプーンを洗って準備します。「炊飯器のスイッチを押さな」と炊飯器のスイッチを押す時間も忘れていませんでした。2階にもいいにおいがただよってきました。予定時刻よりも早くカレーは完成し、配膳を待つばかりとなりました。



2階では、小学校5・6年生と中学生、地域の方々が参加して、体験発表会と懇話会が行われました。

まずは、体験発表会。

中学2年生は、職場体験学習について発表しました。二人の中学2年生は、それぞれ2つの職場で5日間仕事を体験しました。「緊張した」「職場の方々が優しく接してくださった」「仕事とは何かを学ぶことができた」「はっきりしゃべることが大切だとわかった」「これからの学校生活で生かしていきたい」など、仕事の内容や感想、学んだことを発表しました。

中学1年生は、「葛川・久多をよくするために」について発表しました。4人の中学1年生は、昨年小学6年生の時に、葛川や久多の名物になるようなカレンダー、杉の葉クッキー、アマゴの形のパン、スタンプラリーセットを作って発表しています。その経験をもとに、葛川や久多の課題を解決するための案を考え、その中の3つについて企画をして発表しました。この企画は、この後の懇話会での論点になりました。

この後は、懇話会。今年の懇話会のテーマは「自然を生かした企画を立てて、人に来てもらおう」です。中学1年生が立てた3つの企画「名物を作る」「インターネットで宣伝する」「バスツアーを企画する」についてグループごとに話し合いました。小学校5・6年生、中学生、そして地域の方々が4つのグループに分かれて、それぞれの企画について付箋に書いた意見や質問をもとに意見交流を行いました。付箋に書きながら活発に意見を声に出して盛り上がるグループ、企画について個々にじっくりと考えながら交流するグループ、出された意見に賛同したり、質問したりするグループ。グループ内での話し合いはどんどん白熱化していきました。最後に、各グループで話し合ったことをまとめて発表しました。



名物をつくる

- *旬の物（アユ・アマゴ）や環境（雪・山・川）を名物にする
- *絵やデザインなどを公募する（賞品あり）
- *初期は、資金を募る 寄付を募る
- *中学校生徒会の作ったパンフレットをよりよいものにして売る
- *パンフレットにクーポンをつけて店で使ってもらう
- *パンフレットにのせて広告費をもらう
- *売れたお金は開発資金にしたり、商売意欲のために売った人のもうけにする
- *支所などが特許をとり、だれが作ってもいいことにする など

インターネットで宣伝する

- *ホームページの内容を充実化させる（季節ごとに景色のよい所など）
- *すでにあるいくつかのサイトを一体化する

- *学校行事も紹介する
- *英語のサイトもつくる
- *QRコードでアクセスできるようにする（バス停や店ごとに）
- *インターネット環境を整える
- *ネットのインフラ整備を働きかける必要がある など

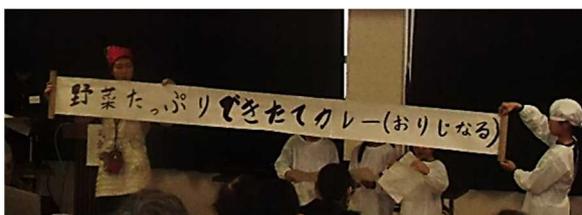
バスツアーを企画する

- *季節に応じたコースをもうける
- *名所を地域の人、地域外の人に聞いてみる
- *雪遊びや川遊びを取り入れたツアー
- *フィッシングツアー、かまくら作りツアー、太鼓回し体験ツアー
- *レンタサイクルでマップを見て自由にまわってもらう
- *歩いて見てもらうのが大切（地域の中を歩いてほしい）
- *乗用車タイプの車でまわるのがいい
- *空き家の紹介をする
- *古民家体験（空き家を使って、一日家を借りて）
- *中学校の部活に文化部として「バスガイド部」を作る など



この懇話会で出された意見はこれ以外にもたくさんありましたが、それらをもとに提案された企画の実現化に今後動いていきたいと思います。

午前の部が終わり、いよいよ昼食です。小学校の1～4年生は健康推進協議会の方々と配膳を待ちかまえていました。お皿にごはんをよそい、カレーをかけます。そして今年



年の目玉のトッピング「かぼちゃ」「ブロッコリー」「福神漬け」をのせます。黄、緑、赤と何とカラフルなカレーでしょう。みなさんにお配りした後、このカレーの紹介をしました。「名前は『やさいたっぷりできたてカレー（おりじなる）』です」



「がんばってつくったので味わって食べてください」。

みんなで「いただきます！」 一口食べた瞬間から「おいしいわ〜」「これいけるで」と大好評でした。すぐにおかわりの列もできました。食後

のインタビュー。「カレーはどうでしたか？」「とってもおいしかったです」「カレーは大好きですが、このカレーはもっ



と大好物になりそうです」など、感想を言っていただき、おなかがすいているのも忘れてとても大喜びでした。小学校1～4年生は、午後も市民センターに残って、お皿を洗ったり掃除をしたりしながら、最後まで後かたづけに力を出しました。

午後は、今年初めての企画、「地域活動」です。小学校5・6年生と中学生が久多と葛川の4か所に分かれて活動しました。久多の足立良孝さんの所では、しいたけ栽培や加工についてお話を聞いたり作業を見せていただいたりしました。貫井の中井秀晴さんには木工体験をさせていただき、木の良さを生かした物を作らせていただきました。町居の宮寄源之さんの源六ハウスでは、3階の床張りのお手伝いやお菓子作りをさせてい



いただきました。仲平の小西達雄さん、小西幸子さん、森口美智子さん、一瀬喜志枝さん、田中富枝さん、田中梅子さんによる「平里の市」の皆様方には、里の市のお話を聞かせていただいたり、よもぎ餅を作らせていただいたりしました。それぞれの場所で聞かせていただいたお話や体験を通して、この地域の自然を生かした物作りの工

夫や技術、物を売ることの苦勞、お客さんのことを考えたおもてなしの心得など、多くのことを学ばせていただきました。ここで学んだことは、葛川や久多の良さを生かしながら、多くの人に知ってもらい来ていただくための取り組みにつながることを思います。大変お世話になりました。



新たな企画「地域活動」を取り入れた今年の「KTふれあいの輪」が終わりました。例年は「KTふれあいの輪」が終わったあと、中学校の生徒会を中心として、地域のためにできる取り組みを考え実践しています。過去4年間で、葛川と久多のゆるキャラ「かっざる」「くたざる」をデザインして地域に広める活動、防災マップを作って配布、葛川と久多のおすすめスポットを掲載したパンフレットを作ってお店などにおいてもらうというような取り組みを行ってきました。来年度から葛川小中学校は小規模特認校としてスタートします。今回、懇話会で出されたご意見や地域活動で学んだことを生かして、中学校の生徒会を核として、小中学校全体で本校の特色の一つ「アントレプレナーシップの育成（起業家体験）」を実践していきたいと思ひます。

貴重なご意見を出してくださった地域の方々、昼食作りの企画や準備、子どもたちへのアドバイスをしていただいた健康推進協議会の皆様方、午後の地域活動でお世話になった地域の方々、準備や後かたづけなどに力を貸していただいた葛川市民センターの皆様方、ありがとうございました。